

令和6年度（2024年度）

管理事業名	自然の家管理事業				総合計画 の体系	大綱 4	子育て・学び	
						政策 3	青少年がすこやかに育つまちづくり	
						施策 1	青少年の健全育成	
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 10	教育費	(項) 5	社会教育費	(目) 11	自然の家費	
部局名	地域教育部	予算執行 所属	青少年室					
事業の目的と概要 【目的】豊かな自然環境を生かし、青少年の自然体験学習を始めとする市民の生涯学習のための施設として、また市民が日常から離れて余暇を過ごす場として、青少年の健やかな成長と全ての世代の心身の健康の増進に寄与することを目的としている。 【概要】昭和55年（1980年）にオープンした自然の家は、令和2年度から教育施設から生涯学習施設へとその設置目的を変更し、民間のノウハウを取り入れた指定管理による施設運営により、利用者サービスの向上と効果的・効率的な運営を行っている。								

I 成果指標（活動指標）

指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	指標の定義
利用者数	人	17,851	19,951	24,479	年間の自然の家の利用者数(延べ)
利用団体数	団体	656	664	677	年間の利用団体数
利用率	%	63.4	66.5	68.3	年間開所日数に対する利用日数の割合
使用料収入	円	5,190,400	5,311,960	7,481,970	使用料の収入実績

II 活動実績・成果

<p>【成果指標1】 利用者数についての評価 ・利用者数24,479人（前年度比：4,528人の増）</p> <p>【成果指標2】 利用団体数についての評価 ・利用団体数677団体（前年度比：13団体の増）</p> <p>【成果指標3】 利用率についての評価 ・利用率68.3%（前年度比：1.8%の増）</p> <p>【成果指標4】 使用料収入についての評価 ・使用料収入7,481,970円（前年度比：2,170,010円の増） ・コロナ禍では利用を見送る学校が多かったが、指定管理者のノウハウを生かした学校向けのプログラム指導などにより、今年度はコロナ禍以前の水準に戻っている。（市立学校利用は令和3年度は16校、令和4年度は20校、令和5年度は22校、令和6年度は21校） ・直営の最終年度（令和元年度）の水準との比較では、利用人数（令和元年度は16,290人）は超えている。 ・令和2年度からの使用料の見直しにより、直営時よりも使用料収入が大きく増加している。（令和元年度は1,938,360円）</p>	<p>【財務情報に基づいた評価】 ・施設老朽化比率が2.9ポイント上昇（71.9%→74.8%）</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------

III 課題と今後の取組

<p>指定管理者とともに利用者ニーズの把握や分析等について十分な意見交換を行い、安心・安全に配慮しながら、学校向けのプログラムの充実などに取り組んでいく。また、施設がオープンして45年が経過しており、老朽化の状況を踏まえて、公共施設（一般建築物）個別施設計画に基づき、年次計画的な修繕を実施する。</p>

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目		令和5年度末 A	令和6年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和5年度末 A	令和6年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	-	-	-	流動負債	1,834	492	△1,342
	未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
	財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
	短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	1,834	492	△1,342
	徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-	
固定資産	有形固定資産	1,113,547	1,098,196	△15,351	固定負債	16,479	4,265	△12,214
	土地	964,984	964,984	-	地方債	-	-	-
	建物・工作物	148,563	133,212	△15,351	長期借入金	-	-	-
	リース資産	-	-	-	退職手当引当金	16,479	4,265	△12,214
	建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
	無形固定資産	240	240	-	その他固定負債	-	-	-
	有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	18,313	4,757	△13,556
	土地	-	-	-	純資産	1,095,474	1,093,679	△1,795
	建物・工作物	-	-	-				
	建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-	純資産の部合計	1,095,474	1,093,679	△1,795	
図書館資料	-	-	-					
投資その他の資産	-	-	-	負債及び純資産の部合計	1,113,787	1,098,436	△15,351	
出資金	-	-	-					
長期貸付金	-	-	-					
基金	-	-	-					
徴収不能引当金	-	-	-					
その他債権	-	-	-					
資産の部合計	1,113,787	1,098,436	△15,351					

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目		令和4年度	令和5年度 A	令和6年度 B	差額 B-A
経常収入	地方税	-	-	-	-
	分担金及び負担金	-	-	-	-
	使用料及び手数料	5,193	5,312	7,482	2,170
	国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
	府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
	財産収入	-	-	-	-
	寄附金	-	-	-	-
	他会計からの繰入金	-	-	-	-
	受取利息及び配当金	-	-	-	-
	その他	55	55	63	8
	経常収入 小計(a)	5,249	5,367	7,545	2,178
	経常費用				
給与関係費	18,682	20,018	5,416	△14,602	
物件費	69,557	72,001	71,630	△371	
維持補修費	1,815	1,881	825	△1,056	
社会保障扶助費	-	-	-	-	
負担金・補助金・交付金等	7	-	-	-	
特別会計への繰出金	-	-	-	-	
減価償却費	15,351	15,351	15,351	-	
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-	
賞与引当金繰入額	1,679	1,834	492	△1,342	
退職手当引当金繰入額	△916	2,187	△11,867	△14,054	
支払利息	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	
経常費用 小計(b)	106,174	113,272	81,847	△24,425	
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△100,925	△107,905	△74,302	33,603	
特別収入					
固定資産売却益	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	
特別収入 小計(d)	-	-	-	-	
特別費用					
固定資産除売却損	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	
特別費用 小計(e)	-	-	-	-	
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-	
一般財源調整額(g)	-	-	-	-	
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△100,925	△107,905	△74,302	33,603	
一般財源充当額	87,890	91,062	72,507	△18,554	
一般会計からの繰入金	-	-	-	-	
一般会計への繰出金	-	-	-	-	
再計	△13,034	△16,844	△1,795	15,049	

財務諸表の特長的な事項

勘定科目等	特長的な事項
【PL】 使用料及び 手数料	利用者数が増えたことによる使用料収入 2,170千円の増

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者1人	コスト 5,948円	5,678円	3,811円
	実績 17,851人	19,951人	21,479人
開所日1日	コスト 305,977円	324,562円	235,870円
	実績 347日	349日	347日

分析内容
利用者数の増加、経常費用の減少により、自然の家利用者1人当たり及び開所日1日当たりのコストは、前年に比べて、それぞれ1,867円及び88,692円減少している。

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和4年度	令和5年度 A	令和6年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	5,249	5,367	7,545	2,178
行政サービス活動支出	93,139	96,428	80,052	△16,376
行政サービス活動収支差額	△87,890	△91,062	△72,507	18,554
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△87,890	△91,062	△72,507	18,554
一般財源充当額	87,890	91,062	72,507	△18,554
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

人にかかるコストの内訳

	給与関係費 等(千円)	うち時間外手 当等(千円)	月平均従事 人数(人)
常勤・再任用	△6,026	152	0.69
会計年度任用等	-	-	-
特別職非常勤	67	-	-
合計	△5,959	-	-

分析指標

(単位：%)

分析指標	年度	令和4年度	令和5年度 A	令和6年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		69.0	71.9	74.8	2.9
施設維持補修費比率		0.3	0.4	0.2	△0.2
経常費用対公共資産比率		20.1	21.4	15.5	△5.9
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		4.9	4.7	9.1	4.4
一般財源充当比率		94.4	94.4	90.6	△3.8